

## 川崎市環境審議会から市長へ答申が行われました

令和3年2月16日に川崎市環境審議会会長（佐土原聡氏、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）から市長に、令和元年5月16日に諮問した「生物多様性かわさき戦略の改定の基本的な考え方について」に関する答申が行われましたのでお知らせします。

### 1 諮問の背景

生物多様性かわさき戦略を平成26（2014）年3月に策定以降、戦略に基づき取組を進めてきたところですが、戦略の計画期間が令和2（2020）年度までとなっていることから、これまでの取組状況を踏まえるとともに、社会状況の変化や環境施策の方向性等との整合を図るため、戦略の改定の基本的な考え方について諮問を行いました。

### 2 審議の経過

環境審議会は、諮問を受け、専門的かつ総合的な見地から審議を行うため、緑と公園部会に付議しました。その後、同部会及び生物多様性戦略改定部会での6回にわたる審議を経て報告を受け、生物多様性かわさき戦略の改定の基本的な考え方について審議結果をとりまとめ、答申しました。

### 3 答申の概要

#### <戦略改定の考え方>

生物多様性の保全の推進に向けては、市民にわかりやすく伝え、生物多様性が身近なものであり、生物多様性を日常の暮らしの中で捉えてもらうことが重要な要素の一つであり、①戦略の枠組みを維持し、取組を充実すること、②近隣他都市との連携を図ること、③将来を見据えて自然環境の有効活用を進めていくこと、④国の動向を留意することが重要

#### <めざす方向>

改定の考え方を踏まえた「めざす方向」は次のとおりです。

- (1) 生物多様性を市民によりわかりやすく、取り組みやすく
- (2) 現行戦略の枠組みを維持しつつ、戦略的な取組を位置づける
- (3) これまでの取組状況や課題に応じた取組の充実・強化
- (4) 川崎市環境関連施策との連携や国の動向への留意

#### <改定の柱>

- これまでの取組状況や地域特性を踏まえるとともに、市内河川の流域に着目し、その特徴を踏まえた将来ビジョンの更新
- リーディング・プロジェクトの充実

### 4 今後の予定

この答申を踏まえ、戦略改定案を策定し、令和3年3月以降にパブリックコメントを実施の上、令和3年6月末を目処に生物多様性かわさき戦略の改定を予定しています。

※答申の詳細については下記に掲載しております。

トップページ>くらし・手続き>環境・河川・港湾>市内の環境対策>川崎市環境審議会>川崎市環境審議会について

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000051000.html>

#### 問合せ先

川崎市環境局総務部環境調整課 岩上  
電話 044-200-2385